

令和5年度 第4回 浜松市立和地小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月14日（水） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立和地小学校 相談室
- 3 出席委員 宇津山 茂、松木 和見、田中 恵子、牧田 眞喜夫、松尾 隆廣、山本 真希、中村 日出雄、岡井 保、野中 雄介、山本 奈津美
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 高橋宏典（校長）、石塚稚人（教頭）、大澤真一郎（主幹教諭）
- 6 教育委員会 なし
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 大澤真一郎

11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中村日出雄委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）学校評価の結果について
- （2）来年度の学校運営の基本方針
- （3）学校運営協議会の自己評価
- （4）夢育やらまいか事業報告
- （5）和地っ子応援団について

13 会議記録

司会の石塚教頭から、委員総数10人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価の結果について

議長の指示により、主幹教諭から別紙資料に基づき学校評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 個人面談は先生と子供が1対1でやるのか。（松尾委員）
→担任と子供がアンケートをもとに1対1で行っています。（大澤主幹教諭）
- ・ 記名しているのか。学校は把握できるのか。（松木委員）
→アンケートは無記名だが、ウェブで回答しているため、誰の回答か分かる。（大澤主幹教諭）
- ・ 朝の見守り活動をしていると、大声で登校している子がいても、大きくなるとおとなしくなる。（中村委員）
- ・ 登校時に友達にちょっかいを出している子がいたが、今はそういう子は少なくなっている。挨拶は、立ち止まって会釈をしながら挨拶をする子が増えている。高学年は恥ずかしさもあるかもしれないが、全体的にできてきている。家庭での親子での挨拶も

大切。(宇津山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 文面では、湖東西は湖東団地の時にできたので町名の順を変えたらどうか。(松尾委員)
- ・ 和地、大山、和光、湖東町、湖東団地・湖東西、桜台の順でできた。(岡井委員)
- ・ 「健康的で安全」を和地っ子宣言に合わせて「安全で健康」としたらどうか。(松尾委員)
→そのようにします。(校長)
- ・ 配慮が必要な子供が増えているということは、保護者もうまく子育てができていない。先生と保護者の話し合いにおいて、先生のメンタルケアはどうなっているのか。(松木委員)
→本校はないが、浜松市全体でみると教員がメンタルを壊して休んでいることがある。しかし、多くは、管理職が入れば何とかなったことも多いと考える。本校では、頼りになっているベテランの先生が多いこともあり、今は大丈夫。今後、何が起こるかは分からないが、何かあったときには管理職が介入していきたい。(校長)
- ・ 年齢構成について、30代、40代が少ないのはどうしてか。(田中委員)
→採用数がこの年代は少なかった。現在は、若い人たちが増えてきている。(校長)
- ・ 若い先生が増えるは良いことだと思うが、保護者対応によりメンタルを壊してしまうこともあり辞めてしまうことも懸念している。そのこともあり希望者が減っているのではないか。民間からの人をうまく使うことができるような制度となるとよい。(田中委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、自己評価表について、委員からは以下の発言があった。

- ・ 今後はボランティア活動に参加してもらえる方に声をかけていきたい。子供たちが地域で安心して登下校できるようにしていきたい。(宇津山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業報告

議長の指示により、教頭から資料にもとづき夢育やらまいか事業について報告があった。

(5) 和地っ子応援団について

議長の指示により、教頭から和地っ子応援団の登録ボランティアについて説明があった。

- ・ 顔合わせ会には全員一度来てもらうのか(野中委員)
- ・ 申し込みが少なかったと聞いたので知り合いに声をかけた。集まったときに連絡手段を決めると今後連絡しやすい。(松木委員)

- ・説明会のイメージはどのようなものか。2日ほど日程を組むとよい。(松尾委員)
- 説明会の内容としては、活動の内容や心得、注意することなどが考えられる。また、連絡方法の確認等の具体的なことも必要。(教頭)
- ・連絡手段については、さくら連絡網で出すことがよいと思うが、ライングループを作った方がよいか。(松尾委員)
- ・説明会のときにライングループを作って連絡をしていったらどうか。(松木委員)
- ・民生児童委員にも声をかけていったらどうか。地域での見守り、声掛けが大事だと思う。(宇津山委員)
- ・説明会への委員からの参加は、宇津山会長、松木委員、田中委員、松尾・山本真希コーディネーター
- ・新1年生の下校の付き添いは、2週間くらい行ったどうか。(宇津山委員)

(6) その他

連絡事項

- ・来年度の委員について新PTA会長の高橋さんとPTA副会長の西浦さんに入っていただく。